

(住民基本台帳人口 H31. 3. 31 時点)

中央地区 人口:52,941 人 世帯数:29,241 世帯 (高齢化率 30.2%)

【基礎データ】 (H31. 4. 1 時点)

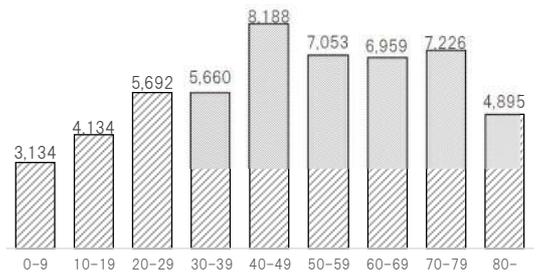
項目	数値	備考
小学校区数	4校区	
社会福祉連絡協議会数	12 連協	
単位福祉協会数	99 協会	
社協(自治会)加入率	55.17%	



【要支援者関連データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
要介護認定者	3,733 人	
身障手帳所持者	2,974 人	
療育手帳所持者	520 人	

年齢階層別人口



【生活保護データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	項目	数値	項目	数値
生活保護世帯数	2,077 世帯	生活保護受給者数	2,699 人	保護率(※)	5.18%

※保護率は、推計人口を母数として算出。(保護率＝生活保護受給者数/地区別推計人口)をもとに算出しています。

【地域福祉ネットワーク会議について】

○基礎情報

名称	中央くらし・つどい隊
開催頻度	2 か月に 1 回
参画人数	全体会：14 人（コア会議は議題により変動）
参画団体数	7(市社協(1)、地域包括支援C(2)、介護関係事業所(2)、その他(2))

○令和元年度の取組状況

協議テーマ	地域と専門職の連携
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コア会議、全体会 (1) ちいきづくり事例集(30年度)を活用した社会福祉協議会の活動紹介 (2) 協議体のこれまでの活動のふりかえり (3) 民生児童委員との意見交換会 (4) 全盲男性高齢者の生活支援にかかる事例検討会(コア会議プラスα)

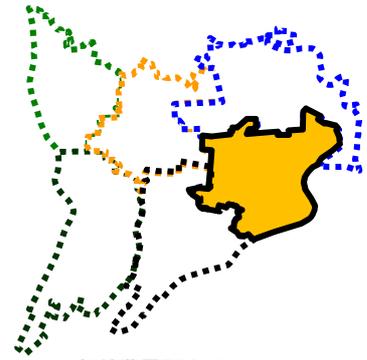
○地域福祉推進協議会で協議・検討を希望する内容

ゴミ屋敷問題について、関係部署が集まりチームで対応できるような体制整備等を検討して欲しい。

小田地区 人口:75,767人 世帯数:38,552世帯 (高齢化率 28.8%)

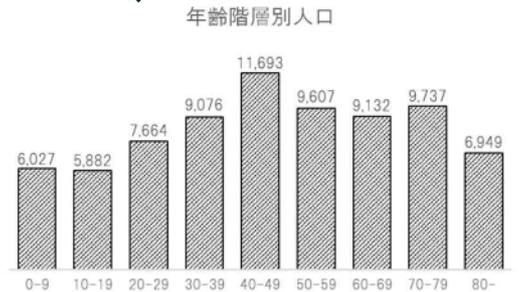
【基礎データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
小学校区数	8 校区	
社会福祉連絡協議会数	13 連協	
単位福祉協会数	121 協会	
社協(自治会)加入率	54.13%	



【要支援者関連データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
要介護認定者	5,103 人	
身障手帳所持者	3,857 人	
療育手帳所持者	769 人	



【生活保護データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	項目	数値	項目	数値
生活保護世帯数	2,069 世帯	生活保護受給者数	2,803 人	保護率(※)	3.79%

※保護率は、推計人口を母数として算出。(保護率＝生活保護受給者数/地区別推計人口)をもとに算出しています。

【地域福祉ネットワーク会議について】

○基礎情報

名称	小田地区協議体 (小田地区地域福祉ネットワーク会議)
開催頻度	コアメンバー会議：1回/月、全体会：3回/年程度
参画人数	議題等により変動 最大約30人
参画団体数	27(市社協(1)、地域包括支援C(2)、各種団体(2)、介護関係事業所(2)、障害福祉関係事業所(3)、銀行(3)、行政関係(10)、その他(4))

○令和元年度の取組状況

協議テーマ	地域の誰もが(認知症の方でも)気軽に通える「地域のつどい場」について
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コアメンバー会議 <ul style="list-style-type: none"> (1)全体会に向けての検討、全体会実施後の振り返り (2)生活支援コーディネーター研究協議会の報告 ・全体会 <ul style="list-style-type: none"> (1)地域の居場所の必要性についての講演会、意見交換会の実施

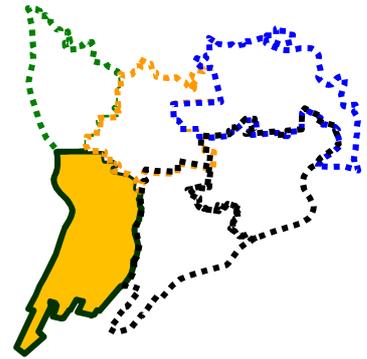
○地域福祉推進協議会で協議・検討を希望する内容

<p>ゴミ屋敷、8050問題、制度の狭間にいる20~50代の引きこもりケースなど、色々な部署へ連絡や相談を持ち掛けるが、1つの部署では解決できないことが多いため苦労している。今後1つの窓口で福祉課題の相談が受けられる部署の創設などの検討を希望する。</p>
--

大庄地区 人口:53,561人 世帯数:27,643世帯 (高齢化率 32.1%)

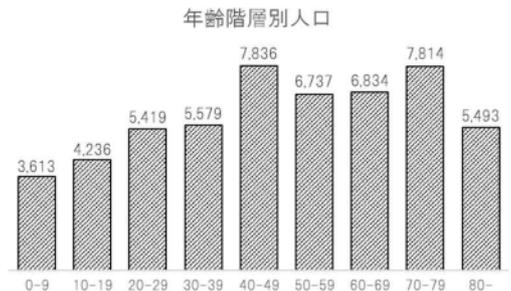
【基礎データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
小学校区数	6 校区	
社会福祉連絡協議会数	15 連協	
単位福祉協会数	102 協会	
社協(自治会)加入率	72.45%	



【要支援者関連データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
要介護認定者	4,068 人	
身障手帳所持者	3,312 人	
療育手帳所持者	567 人	



【生活保護データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	項目	数値	項目	数値
生活保護世帯数	1,729 世帯	生活保護受給者数	2,290 人	保護率(※)	4.42%

※保護率は、推計人口を母数として算出。(保護率＝生活保護受給者数/地区別推計人口)をもとに算出しています。

【地域福祉ネットワーク会議について】

○基礎情報

名称	大庄地区協議体
開催頻度	コアメンバー会議：不定期（概ね3か月に1回）
参画人数	コアメンバー：9人
参画団体数	8(市社協(1)、地域包括支援C(2)、連協(2)、各種団体(1)、介護関係事業所(1)、児童福祉関係事業所(1))

○令和元年度の取組状況

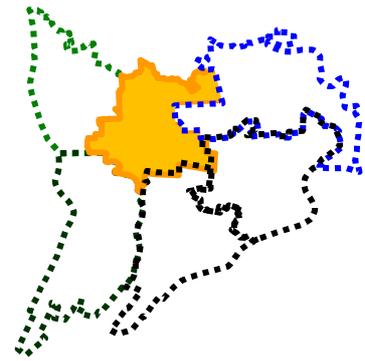
協議テーマ	「担い手の発掘及び育成」「地域のつながり・支え合いづくり」
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コアメンバー会議 <ul style="list-style-type: none"> (1) 協議テーマに基づいた取り組み内容、方針、年間スケジュールの決定 (2) 全体会の実施内容についての検討、実施後の振り返り ・全体会 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域のつどい場交流会 対象：サロン実施者、つどい場づくりを実践している方 内容：実践報告及びグループワーク (2) 大庄地区協議体 勉強会 内容：講演会及びグループワーク (3) つどい場見学ツアー 内容：地域のつどい場交流会で実践報告をしたつどい場の見学

○地域福祉推進協議会で協議・検討を希望する内容

立花地区 人口:108,007人 世帯数:54,699世帯 (高齢化率 27.2%)

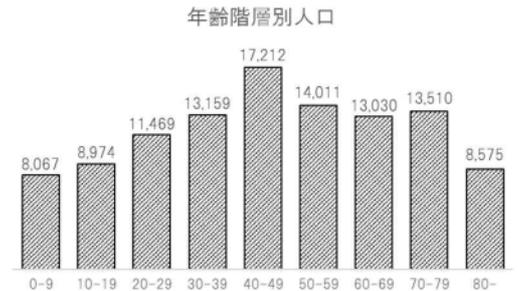
【基礎データ】 (H31.4.1時点)

項目	数値	備考
小学校区数	9校区	
社会福祉連絡協議会数	10連協	
単位福祉協会数	112協会	
社協(自治会)加入率	47.92%	



【要支援者関連データ】 (H31.4.1時点)

項目	数値	備考
要介護認定者	5,987人	
身障手帳所持者	4,563人	
療育手帳所持者	991人	



【生活保護データ】 (H31.4.1時点)

項目	数値	項目	数値	項目	数値
生活保護世帯数	2,768世帯	生活保護受給者数	3,615人	保護率(※)	3.42%

※保護率は、推計人口を母数として算出。(保護率=生活保護受給者数/地区別推計人口)をもとに算出しています。

【地域福祉ネットワーク会議について】

○基礎情報

名称	見つけよう広げようたちばなネットワーク
開催頻度	コアメンバー会議：1回/月、拡大メンバー会議：1回/2月、交流会等：随時
参画人数	拡大メンバー会議：14人
参画団体数	7(市社協(1)、地域包括支援C(2)、連協(2)、各種団体(1)、その他(1))

○令和元年度の取組状況

協議テーマ	担い手の育成
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コアメンバー会議 <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援サポーター交流会について (2) ふれあいサロン交流会について ・拡大メンバー会議 <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活支援サポーター交流会の結果について (2) ふれあいサロン交流会について (3) ふれあいサロン交流会の結果について ・ふれあいサロン見学会(参加人数：14人) <ul style="list-style-type: none"> 対象：拡大メンバー 内容：地域で実施するふれあいサロンの見学 ・生活支援サポーター交流会(参加人数：16人) <ul style="list-style-type: none"> 対象：立花地区在住のサポーター養成講座修了者 内容：活動者間の交流会 ・ふれあいサロン交流会(参加人数：27人) <ul style="list-style-type: none"> 対象：ふれあいサロンの代表者、生活支援サポーター交流会参加者 内容：地域担当職員の役割や活動紹介の説明及び意見交換

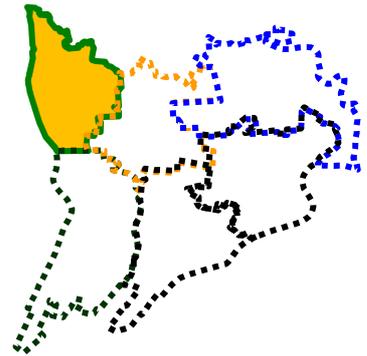
○地域福祉推進協議会で協議・検討を希望する内容

地域のコミュニティ推進のため多様な場づくりが進められている中、既存のサロンでは各福祉会館を活用することが多いが、使用条件があったり、すでに行事がいっぱい使えない状態となっている所もある。地域住民・団体にとっては、サロンを実施する場所が必要だが、比較的低額で利用できる福祉会館以外になると、経費の問題で運営が困難となってしまう。このような課題に対応するため、地域の空き家や空き店舗を活用できる仕組みづくりが必要であり、家賃や固定経費(光熱水費の基本料金)の助成制度があれば、さらなる地域活動の活性化につながると思う。

武庫地区 人口:76,360人 世帯数:36,840世帯 (高齢化率 25.8%)

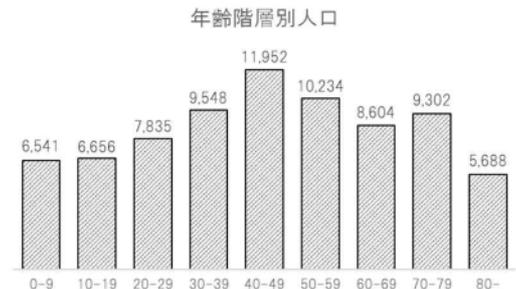
【基礎データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
小学校区数	6 校区	
社会福祉連絡協議会数	12 連協	
単位福祉協会数	73 協会	
社協(自治会)加入率	29.15%	



【要支援者関連データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
要介護認定者	4,054 人	
身障手帳所持者	3,242 人	
療育手帳所持者	719 人	



【生活保護データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	項目	数値	項目	数値
生活保護世帯数	1,716 世帯	生活保護受給者数	2,458 人	保護率(※)	3.34%

※保護率は、推計人口を母数として算出。(保護率＝生活保護受給者数/地区別推計人口)をもとに算出しています。

【地域福祉ネットワーク会議について】

○基礎情報

名称	武庫地区協議体 (武庫地区地域福祉ネットワーク会議)
開催頻度	市社協と包括との協議を月1回開催、コアメンバー会議：年3回開催
参画人数	拡大メンバー：14人
参画団体数	7(市社協(1)、地域包括支援C(2)、NPO法人(1)、その他(3))

○令和元年度の取組状況

協議テーマ	「人づくり(担い手)」「場づくり」「武庫づくり」
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コアメンバー会議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 昨年度作成・配布した各団体共通のボランティア募集チラシの改訂・配布 (2) 各地域を巡回して「支えあい活動」の説明することと並行して、住民代表の会議への参画についての検討。 ・拡大メンバー会議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「地域福祉会議」を活用した、ニーズ把握や住民視点での「助け合い」についての話し合いを実施。また、住民代表が参画することによる会議の活性化を図ることについて協議。

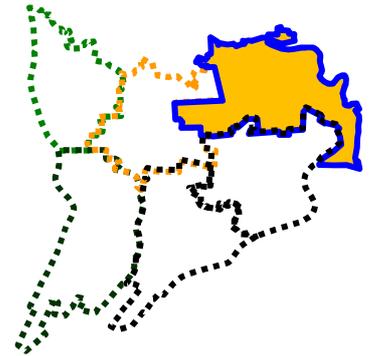
○地域福祉推進協議会で協議・検討を希望する内容

多くの住民に対し、「助け合い」の基盤となる自治会や何かの(ボランティア)グループなどに所属するよう意識醸成を図って欲しい。

園田地区 人口:96,298人 世帯数:47,283世帯 (高齢化率 24.2%)

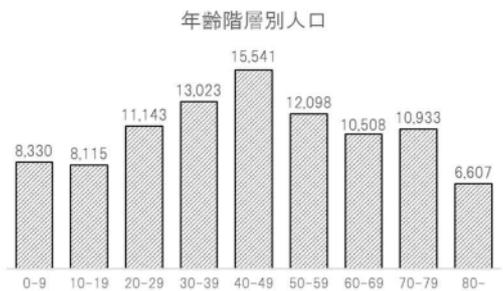
【基礎データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
小学校区数	8 校区	
社会福祉連絡協議会数	13 連協	
単位福祉協会数	93 協会	
社協(自治会)加入率	46.48%	



【要支援者関連データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	備考
要介護認定者	4,840 人	
身障手帳所持者	3,747 人	
療育手帳所持者	904 人	



【生活保護データ】 (H31. 4. 1 時点)

項目	数値	項目	数値	項目	数値
生活保護世帯数	2,054 世帯	生活保護受給者数	2,750 人	保護率(※)	2.91%

※保護率は、推計人口を母数として算出。(保護率＝生活保護受給者数/地区別推計人口)をもとに算出しています。

【地域福祉ネットワーク会議について】

○基礎情報

名称	園田地区地域福祉ネットワーク会議
開催頻度	コアメンバー会議：1回/月程度、全体会：2回/年
参画人数	全体会：59人 ※コアメンバー会議は社協園田支部と南北地域包括支援センター R1年10月から相談支援事業所サポートセンターさくら(障がい)が加わる
参画団体数	28(市社協(1)、地域包括支援C(2)、単協(13)、各種団体(2)、NPO法人(1)、介護関係事業所(1)、行政関係(5)、その他(3))

○令和元年度の取組状況

協議テーマ	「防災について」「つどい場交流会について」
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・コアメンバー会議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 昨年度のふりかえりと全体会について (2) 個別事例について普遍的な事例としての情報共有(8050問題など) (3) 8050問題にとどまらず、「世帯」を対象にする事例も増えているため、高齢、障害、児童等関係機関同士で共有・相談できる体制づくりについて ・全体会 <ol style="list-style-type: none"> (1) 災害時のネットワークを考えよう(参加人数：44人) 内容：地域の事例発表(台風21号被害と24号前の事前の防災会議の開催、自主避難の告知方法等)を通じた話し合い

○地域福祉推進協議会で協議・検討を希望する内容

<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりがちな人、特に声かけしても参加しない人への対応 ・つどいば活動者の担い手や後任者不足について ・地域の支えあいの取組を広げるには？
